



第59期 中間株主通信

2022年10月1日～2023年3月31日



富士製薬工業

証券コード:4554

トップメッセージ



株主の皆さまにおかれましては、日頃より当社事業へのご理解とともに多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は「世界の女性のwell-beingの向上に貢献する」というビジョンを掲げ、女性医療のスペシャリティファーマとしての位置付けを強化してまいりました。本年5月には、より一層女性医療に必要な幅広い製品を提供していくために、研究開発志向型の製薬企業からなる「日本製薬工業協会」へ加盟致しました。日本国内では、昨年の不妊治療への保険適用の拡大などで女性特有の健康問題に対する社会的関心が向上してきており、より一層当社の価値提供の機会が広がっています。

私たちは、今後も世界の女性のwell-beingの向上に貢献するとともに、グローバルマーケットへの進出を果たし、より一層の社会への貢献を実現してまいります。

代表取締役会長 今井 博文

代表取締役社長 岩井 孝之

中期経営計画の成長シナリオを 確実に成果へと つなげていきます。

2023年9月期第2四半期の業績と成果

2023年9月期第2四半期の業績は、連結売上高19,225百万円で業績予想比95.4%、営業利益1,824百万円で業績予想比91.1%となりました。新規販売製品などの初速が予想を下回ったこと等により、第2四半期においては業績予想比を下回る結果となりました。一方で、2022年4月に不妊治療に関する保険適用が拡大され、若年層を中心に受診者数が増加し、関連する医療用医薬品市場も拡大傾向を示したことなどにより、売上高は前年同期比8.5%増加しております。当社の製品はまだ市場拡大余地が大きいものも多く、それらの製品の市場拡大も下支えとなり、業績は概ね予定通り進捗しています。

当社のコア事業である女性医療領域においては、卵巣癌などに効能効果を有する「ドキシル®注20mg」の製造販売承認を有するバクスター株式会社と日本国内での独占的な販売契約に合意し、2023年1月より販売開始しました。また、ベルギーのMithra Pharmaceuticalsから導入し、次世代の月経困難症治療薬として現在開発中の「FSN-013」は、2023年9月期中の承認申請を予定しており、開発も順調に推移しております。

次の当社成長の柱とするバイオシミラー事業におい



ては、2018年に締結したAlvotechとの提携を通じて、現在7製品のバイオシミラーを確保しており、そのうち1製品の承認申請を2022年10月に行いました。

また、2023年4月には、タイにおいて当社子会社のOLICが、エストロール/ドロスピレノン配合剤「Nextstellis™」の販売を開始しました。当社グループ初の海外市場における医薬品の販売であり、海外事業の強化における大きな一歩を踏み出しました。

サステナビリティに対する取り組み

優れた医薬品を通じて、人々の健やかな生活に貢献する。この経営理念にあるように、当社は社会のサステナビリティに直結する「製薬企業のあるべき姿」を追求してきました。2022年11月には、北陸電力グループから再生可能エネルギーによる電力を調達する「太陽光発電オフサイトPPA」を導入し、同年12月にはTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言に基づく情報開示も行いました。子会社のOLICにおいても2022年11月に太陽光発電設備の導入を決定するなど、CO₂排出量削減に向けた具体的施策を実施しています。また、人的資本経営として、社員一人ひとりが仕事を通じ、互いにリスペクトしながら成長できる風土づくりも推進しています。

中期経営計画の進捗と今後の展開

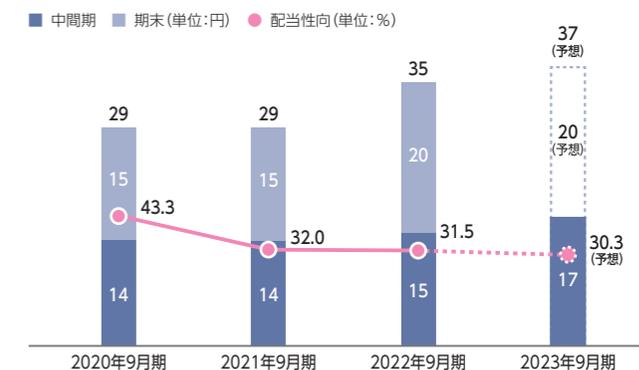
これまでの3年間で中期経営計画の成長シナリオを基に準備してきた成長の種を結実させ、確実に成果へとつなげていきます。業績の拡大も、2024年9月期末の「売上高500億円」「営業利益50億円」達成に向けて加速していきます。

女性医療分野では既存製品「ファボワール®錠」「ラベルフィーユ®錠」「ジエノゲスト錠」などの安定供給に努めるとともに、2022年11月に発売した新薬「エフメノ®カプセル」、販売提携した「プロウパス®」、「ドキシル®」の三つの新薬をしっかりと医療機関、患者さまにお届けしてまいります。その他の分野では、日本製薬から承継した新薬である経口腸管洗浄剤「サルプレップ®」も、将来のバイオシミラーの発売を睨みつつ、伸ばしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、当社事業の持続的な成長とさらなる社会への貢献にご期待いただき、長期のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 岩井 孝之

1株当たり配当金/配当性向



Topic 1

「Nextstellis™」発売記念講演会を開催しました

～富士製薬工業グループ海外事業展開への第一歩～

「Nextstellis™」は、新規の有効成分であるエストロール(E4)とドロスピレノン(DRSP)の配合剤のタイにおける製品名です。日本国内においてはFSN-013の開発名で適応症を「月経困難症」として開発しておりますが、タイにおいては「避妊」を適応症として、OLICが2023年4月に発売いたしました。

同月、タイにおける「Nextstellis™」の発売を記念して、「Take-off The 1st NE4ST with DRSP to the next era」と題し、OLICが主体となりバンコクで記念講演会を開催いたしました。タイトルの「NE4ST」は、「NEST (Native

Estrogen with Selective Actions in Tissues)」と、新規成分である「E4 (エストロール)」を掛け合わせた言葉となっています。本

記念講演会には、170名以上のタイの産婦人科医が出席され、避妊におけるunmet medical needs、エストロールに関する臨床データが報告されました。

これまで、OLICは東南アジア最大級のCMO企業(医薬品の製造・受託企業)として事業を展開してまいりましたが、純粋なCMO企業から、CMO事業と自社ブランド製品を併せ持つハイブリッド企業への転換を遂げつつあります。「Nextstellis™」は、富士製薬工業グループにとっても、初の海外での自社販売製品であり、本剤の発売、および、本記念講演会の開催は、現中期経営計画の「海外事業の強化」については、2030年ビジョンのありたい姿の1つである「薬の富山からGlobal Marketに進出している」の大きな1歩となりました。



「Nextstellis™」発売記念講演会の様子



統合報告書2023を発行しました

本統合報告書は、株主・投資家の皆さまをはじめとしたすべてのステークホルダーの皆さまに対し、当社についてより深くご理解いただくことを目的として発行する報告書です。当社ホームページ上で公開しておりますので、是非ご高覧ください。

Top>サステナビリティ>統合報告書

<https://www.fujipharma.jp/sustainability/integrated/>



Topic 2

医家向けサプリメントブランド「LAFILL®」の立ち上げ

～栄養機能食品「葉酸+ケストース」発売～

ラフィルは、「女性を満たす」をコンセプトに、女性医療のスペシャリ



ティファーマである当社が毎日の健康サポートを目的に開発した、女性のための医家向けサプリメントブランドです。

このラフィルブランドの第一弾として、妊娠準備期から授乳期の女性を対象に、「葉酸」と「ケストース」に加え、ビタミン・ミネラル17種を配合した、「LAFILL® 葉酸+ケストース」を2023年6月より販売いたします。主成分である葉酸はビタミンB群の一種で、胎児の正常な発育のために重要な役割を果たすことから、妊娠準備期からの摂取が推奨されています。ケストースは、ビフィズス菌や乳酸菌といった善玉菌の栄養源となる「プレバイオティクス」で、排便習慣への働きが注目されているオリゴ糖の一種です。

医療機関を通じ本製品を提供していくことで、妊娠前後の大切な時期を健やかに過ごしいただく上で欠かせない栄養補給をサポートするだけでなく、生涯を通じて継続的に相談できる産科・婦人科分野のかかりつけ医との信頼構築に寄与し、女性のwell-beingの向上に貢献できるものと考えております。



IRメール配信サービスのご案内

当社の決算情報やリリース情報をメールでタイムリーにお知らせします。ぜひご登録ください。

<https://www.fujipharma.jp/ir/mail/>



財務ハイライト

POINT

新製品のエフメノ® カプセル、ウトロゲスタン® などの既存女性医療領域、承継品であるドキシル® の貢献に加え、OLICの新規受託案件の増加により、連結売上高は前年同期比8.5%増加しました。

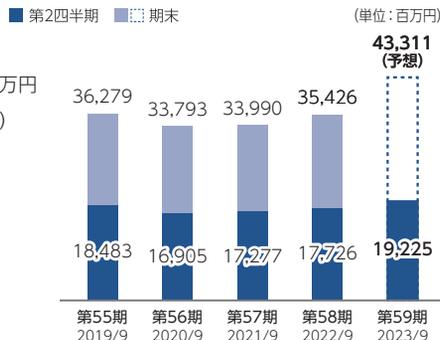
POINT

売上原価における原材料費の増加や、戦略的投資による無形資産の減価償却費、研究開発費の増加により、連結営業利益は前年同期比32.7%減少しました。

※ 2022年9月期より会計基準を変更しております。

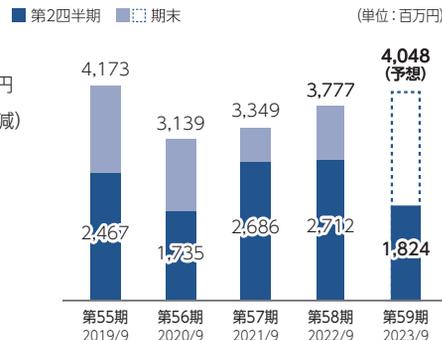
売上高

192億25百万円
(前年同期比 8.5%増)



営業利益

18億24百万円
(前年同期比 32.7%減)



親会社株主に 帰属する 四半期(当期) 純利益

17億72百万円
(前年同期比 3.3%減)



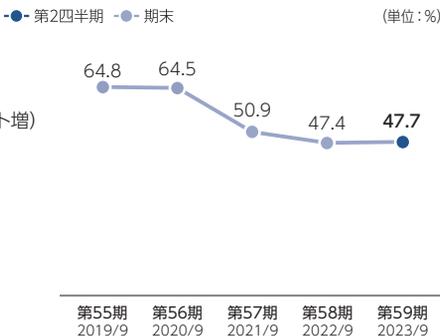
総資産

848億3百万円
(前期末比 12.3%増)



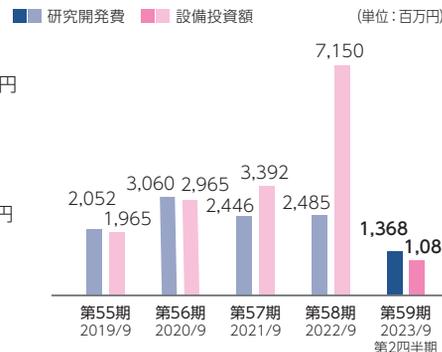
自己資本比率

47.7%
(前期末比 0.3ポイント増)



研究開発費

13億68百万円



設備投資額

10億88百万円

会社概要 (2023年3月31日現在)

会社名 富士製薬工業株式会社(Fuji Pharma Co., Ltd.)
所在地 〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7
設立 1965年4月
資本金 37億9,910万円
社員数 連結1,568名(富士製薬工業：819名、OLIC社：749名)
事業所 本社 東京
支店 北海道・東北、関東第一、関東第二、
東海北信越、関西、西日本
工場 富山
研究所 富山 [富山研究開発センター]
海外グループ会社 OLIC (Thailand) Limited
<https://www.olic-thailand.com/>

役員 (2023年5月1日現在)

代表取締役会長 今井 博文 取締役(社外) 木山 啓子
代表取締役社長 岩井 孝之 取締役(社外) 荒木 由季子
取締役副社長 上出 豊幸 常勤監査役 井上 誠一
取締役副社長 鈴木 聡 監査役(社外) 三村 藤明
取締役(社外) 平井 敬二 監査役(社外) 相良 美織
取締役(社外) 三宅 峰三郎

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 56,440,000株
発行済株式総数 24,753,800株
株主数 8,504名

大株主	株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
	有限会社FJP	4,332,200	17.81
	今井博文	3,052,750	12.55
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,657,800	6.82
	新井親子	1,240,000	5.10
	Lotus Japan Holdings合同会社	1,219,300	5.01
	株式会社Yamhill Sciences	1,000,000	4.11
	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	838,941	3.45
	BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	623,089	2.56
	今井道子	446,000	1.83
	公益財団法人今井精一記念財団	400,000	1.64

(注)1. 当社は、自己株式433,372株(発行済株式総数の1.75%)を所有しております。また、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 上記のほか、役員向け株式交付信託の信託財産として、三井住友信託銀行株式会社が17,541株保有しています。
なお、当該株式は連結貸借対照表において自己株式として処理しております。

株主メモ

事業年度

毎年10月1日から翌年9月30日まで

定時株主総会

毎年12月開催

基準日

定時株主総会 毎年9月30日
期末配当金 毎年9月30日
中間配当金 毎年3月31日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

公告方法

電子公告(当社ホームページに掲載)
<https://www.fujipharma.jp/ir/announce/>
ただし、事故その他やむを得ない事由がある場合には、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031

ホームページ

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

上場証券取引所

株式会社東京証券取引所 プライム市場

IRに関するお問い合わせ

本社/経営戦略本部経営企画部経営企画課

〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7 精糖会館6F
TEL:03-3556-3344 FAX:03-3556-4455
<https://www.fujipharma.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。